

みやぎの園芸特産振興戦略プランが目指すもの

スローガン

「先進的園芸経営体と共に切り拓く新しいみやぎの園芸産地の確立」
～みやぎの園芸倍増に向けて～

目指すべき姿

- 先進技術を駆使した全国トップレベルの施設園芸
- 担い手を核とした収益性の高い大規模露地園芸

【推進目標】

- 園芸特産産出額 373億円(H30) →544億円(R7)
- [うち園芸産出額 333億円(H30) →500億円(R7)]
- 先進的園芸経営体数 87経営体(H30)→140経営体(R7)



用語解説（宮城県の定義）

先進的園芸経営体

- ①年間販売額 5千万円以上
- ②常時雇用 1名以上
- ③園芸栽培面積は施設園芸で概ね1ha以上、露地園芸は概ね5ha程度
- ④主に園芸が主体的な部門での年間販売額が全体の半分以上 の農業法人

アグリテック

農業の ICT（情報通信技術）等のテクノロジー技術を導入することで省力・軽労化を図るなどの課題を解決すること。

園芸サプライチェーン

サプライチェーン（供給連鎖）、コールドチェーン（低温流通）、バリューチェーン（価値連鎖）から構成される商品・サービスを顧客に提供するための原材料調達から生産・加工・流通に至る一連の事業活動の流れや仕組み

大規模露地園芸経営体

先進的園芸経営体のうち露地園芸部門での栽培面積が概ね 10ha 以上の農業法人

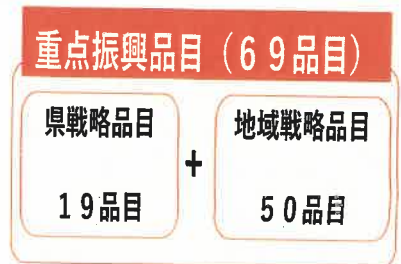
4つの基本方針	10の振興方策
【基本方針1】 先進技術を駆使した施設園芸の推進	(1) 先進技術を活用した施設園芸産地の拡大 (2) 先進的園芸経営体の育成 (3) 技術革新による次代の施設園芸の推進
【基本方針2】 大区画ほ場等を活用した露地園芸の推進	(1) 水田等における収益性の高い園芸作物の推進 (2) 地域を牽引する経営体を核とした露地園芸の振興 (3) 効率的な作業体系の推進
【基本方針3】 食品関連産業等との連携による園芸サプライチェーンの構築	(1) 食品関連産業との連携促進 (2) 多様なニーズに対応した野菜・花き・果樹・特用林産の生産拡大と販路開拓
【基本方針4】 園芸産地の発展に向けた多様な人材等の確保・育成	(1) 多様な人材の活用 (2) 企業参入による園芸生産の拡大

みやぎの園芸特産振興の進め方

1 重点振興品目 【県戦略品目(県全体)19品目, 地域戦略品目50品目】
 重点振興品目を定め, 施策を集中させるとともに, 関係機関が連携して産地づくりに取り組む。

2 推進体制

・県・市町村・関係機関等が一体となって推進する体制を整備。
 ・先進的園芸経営体への支援を強化するためのネットワーク構築, 生産から流通・販売まで生産者と関連企業との連携を進める体制を整備。



各品目別の振興方策【県戦略品目 19品目】

- 野菜 (いも類含む) [H30: 280億円 → R7: 424億円]
 県戦略品目(12): **いちご**, **きゅうり**, **トマト**, ほうれんそう, パプリカ, **ねぎ類**, **たまねぎ**, キャベツ, **えだまめ**, ばれいしょ, レタス, せり
- 花き [H30: 27億円 → R7: 41億円]
 県戦略品目(3): **輪ぎく**, **スプレーぎく**, **鉢もの類・花壇用苗もの類**
- 果樹 [H30: 26億円 → R7: 35億円]
 県戦略品目(3): **日本なし**, **りんご**, **ぶどう**
- 特用林産物 [H30: 40億円 → R7: 44億円]
 県戦略品目(1)品目: **しいたけ**

各圏域産地戦略プランの概要【地域戦略品目 50品目】

※各圏域の特色を生かした主な取組品目

- 〈仙南〉 つるむらさき、ブロッコリー、だいこん、きくいも、じねんじょ、小ぎく、うめ、かき、たけのこ
- 〈仙台〉 しゅんぎく、ゆきな、さつまいも、みょうがたけ、カーネーション、宿根かすみそう、いちじく
- 〈大崎〉 なす、かぼちゃ、みずな、しゅんぎく、にら、しそ、ゆきな、ばら、えのきたけ、わさび
- 〈栗原〉 なばな類、かぼちゃ、そらまめ、だいこん、れんこん、ズッキーニ、小果樹類、なめこ
- 〈登米〉 そらまめ、なす、にら、にんにく、ゆきな、ストック、トルコギキョウ、もも
- 〈石巻〉 スイートコーン、はくさい、ゆきな、ガーベラ、いちじく
- 〈気仙沼・本吉〉 なばな類、こまつな、小ぎく、枝もの類（まつ）、小果樹類、ふき